

2026年度 特色プレゼン入試 評価基準表

神戸国際中学校

番号	評価項目	5	4	3	2	1	
①	探究力 (課題発見力・解決力) 知識をまとめるだけでなく問題を提起し解決策を考えているか？	自ら課題を見つけることができている。その課題を掘り下げることができ、具体的な解決策を導き出せている。	自ら課題を見つけることができている。その課題を掘り下げる工夫に少し欠けるが、具体的な解決策を導き出せている。	自ら課題を見つけることができている。自分なりに解決策は導き出せているが、解決には不十分である。	自分なりに課題をとらえている。しかし、その課題のとらえ方は不十分であり、解決策は導き出せていない。	課題をとらえることができず、解決策が示されていない。	20
②	創造力 (資料・図表) 知識・データを他者に理解しやすいように加工しているか？	プレゼン資料を視覚的に分かりやすくするように概念や数値に関するものを図表化しており、とても見やすい。	プレゼン資料を視覚的に分かりやすくするように数値に関するものは図表化している。	プレゼン資料を視覚的に図表化しているが、分かりにくい。	資料・図表化したものはあるが、プレゼン内容を指示していない。	資料・図表を使用していない。	20
③	表現力 表情・目線・動作が適切であるか？	豊かな表情で、聞き手とアイコンタクトを保ち、手元の資料を見ないで分かりやすく伝えている。	豊かな表情で、聞き手とアイコンタクトを保ち、ときおり手元の資料を見ながらであるが、分かりやすく伝えている。	ときおりではあるが聞き手とアイコンタクトをとり、手元の資料を見ながらであるが説明している。	時々聞き手とアイコンタクトをとっているが、ほとんど資料を読んでいる。	資料を読んでいるだけでアイコンタクトはできていない。	20
④	伝達力 声の大きさが適当で表現・伝達する力があるか？	身振り手振りも自然で表現力が高い。明瞭な声と口調、適切な声量で、相手にはっきりと伝わる。	明瞭な声と口調、適切な声量で、相手に伝える力は持っている。	明瞭な声と声量で、相手に伝える力は普通である。	時々、声が聞きとりにくく、相手に伝わりにくい。	声が聞きとりにくく、相手に伝わりにくい。	20
⑤	準備力 (発表時間)	期待するレベル（レベル4）をはるかに超えている素晴らしい発表である。	準備をしてきた成果が十分に発揮され、指定された時間通りの発表である。	準備をしてきた成果が発揮され、概ね指定された時間通りの発表である。	準備がやや足りておらず、指定された発表時間とは少し離れている。	準備が不十分であり、指定された発表時間通りではない。	20

【特色プレゼン入試の評価方法について】

※評価点について ①「国語または算数」(100点) ②「プレゼンと面接の評価」(150点) ③「小学校の成績」(50点) **合計300点**

※テスト時間について ①「プレゼン」(3分)＋「質疑応答」 ②「国語または算数」(50分)

※受験生にこの評価基準については、公開する。